

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ドレミファソライズ FCつくばみらい				公表日	2025年10月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	☐		法令に基づいたスペースを確保しています。課題に応じて活動しやすいスペースを作っています。	活動しやすい空間を作り、スペースの確保に努めます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	☐		法令に従って職員の配置を行っています。学年別グループや課題訓練内容により職員を増やすなど調整しています。	現状を維持していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	☐			利用者のニーズに応じて配慮が必要な箇所は環境調整していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	☐				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	☐				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	☐		日々の記録をもとに、月に一度、課題設定や目標の見直しを行っています。	目標設定や新たな課題をわかりやすく記録し、職員全員の意見が反映されるよう努めます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐		保護者の皆様に事業所アンケートにご協力をいただき、評価を真摯に受け止め、業務改善に努めています。	保護者の方の意見に耳を傾け、より良い支援、必要な支援を考えていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	☐				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		☐	現在は第三者による外部調査は行っておりません。	第三者外部評価に関しては、必要性を重要視し検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	☐		月に一度、スタッフミーティングを行い、事例検討や研修をしています。	時代に合った支援と本人の思いに添った支援を、考える機会を大切に資質の向上を目指します。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	☐				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	☐		年度初め（4月）にアセスメントを取り、子どもの成長・発達、保護者のニーズや環境の変化に応じて適宜、支援計画を作成しています。	子ども達の成長にあった分かりやすい放課後等デイサービス計画を作成していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	☐				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	☐				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	☐		事業所独自の物で対応しています。	現状の把握ができるよう内容については、適宜見直します。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	☐				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	☐		支援にあたる全スタッフで意見を出し合い、児童の様子や心の状態に合わせたプログラムを考え提案しています。	子ども達の自己実現を第一に、プログラムを考えていきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		社会体験、サッカー療育など活動プログラムを工夫しています。	行政からの指導を下に季節行事なども可能な範囲で取り入れながら固定化しないように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		グループ活動を基本としていますが、発達の特性やその日の心の状態に応じて個別で向き合いながら集団活動へスムーズに移行出来るようバランスを考えて計画を立てています。	一人一人の成長や心の状態を考慮して放課後等デイサービス計画を作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日利用される児童の活動内容を共有しスムーズな支援が行えるよう打合わせをしています。	スタッフ間の連携に努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終業前に、児童の活動状況や行動の様子を伝え合い、次回につなげるようにしています。	振り返りが次の支援に生かせるよう、本日の様子や気づきの共有を大切にします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々記録をとり、次に支援すべき課題や内容の把握をしています。改善すべき点は明確に記載するようにしています。	情報管理を徹底し、改善すべき点は直ぐに改善すよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年に3回モニタリングを行い、適宜サービス計画の見直しを行っています。	お子様の成長・発達を踏まえ、適宜計画の見直しをします。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		状況に応じて、必要な活動をいくつか組み合わせ支援を行っています。	お子様の成長・発達に応じて工夫を重ね、支援をしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。必要に応じて支援員も同行し、現状報告が詳細に行えるよう心掛けています。	担当者会議録及び現状報告を行った記録の整備を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有は保護者の方を通して行っています。お子様の様子や連絡などに関しては、送迎の際に直接伺っています。トラブル発生時は緊急連絡先に連絡を入れるなど、早急に対応するよう心掛けています。	学校との情報共有や連絡調整に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現状、就学前に過ごしていた保育所や幼稚園などと情報共有した例はありませんが、継続支援についてはスムーズに支援移行ができるよう努めています。	相談支援事業所や児童発達支援事業所との情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		今のところ事例がありません。	障害者福祉サービス事業所からの求めがあった場合には、ご本人及び保護者の方の同意を得て情報提供していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		連絡をいただいた会議に積極的に出席しています。助言・研修などを受け、支援にいかすよう努めています。	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等と連携し助言や研修を受けます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		サッカー練習や公園等に出かける機会に地域の子供たちと自然な形で交流しています。	障がいのあるなしに関わらず地域のお子様との自然な交流を大切にしながら共生社会の実現に取り組んでいます。インクルーシブ教育について学びを深め考えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		福祉連絡会には必ず参加し、地域の困り事を他の事業所の方と協議しています。	福祉連絡会やお声がけがあった会には積極的に参加し、他の障害福祉サービス事業者の皆様と地域の困りごとを協議していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		来所持に直接お話をし、共通理解のもと支援が行えるようにしています。お迎えの際には本日の様子、成果などお伝えするようにしています。	保護者の皆様と共通理解のもと、療育支援を行います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時に相談があったことに関しては、療育での対応をお伝えしたり家庭で参考にできることを提案させていただいています。	個別の相談時間を設けてペアレントトレーニングや関わり方、対応の仕方などの支援も行っていきたいと考えています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		新規契約時に規程を説明させていただき、利用されている中で感じた質問などには速やかにお答えできるよう準備しています。	ご不明な点、質問などにはその都度お答えしていくよう努めます。

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	☐			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	☐			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	☐		相談にはその都度お伺いして対応していますが、必要に応じて日時を改め、時間をしっかり取った上で、助言・支援なども行っています。	保護者の方が子育ての悩みや相談がしやすい環境や関係を作っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	☐		今年度は、11/2に親子サッカーを企画しています。保護者会も兼ねる予定です。	保護者の方々がつながりを持つ場の提供として親睦会を定期的に行うことで気軽に足を運びやすい形にしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	☐		直接どんな事でも相談していただける関係・環境を作るようにしていますが、苦情に関しては相談窓口を設けています。	主訴やご意向をしっかり受け止め、ご指摘いただいた事については改善策を講じ、紙面で示しながら保護者の方へ説明をさせていただきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	☐		月1回ソライズ新聞を発行し配布しています。	保護者の方に分かりやすい紙面作りを考え、提供、発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	☐		年1回以上個人情報の取り扱いについての勉強会を行っています。職員の入職時には個人情報保護に関する誓約書の記載や個人情報保護規定を作成しています。	個人情報の取り扱いに関しては今後も十分に注意し、徹底していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	☐		一人一人の発達の特長や成長に応じて、わかりやすい方法や手段を考えて対応しています。	お子様や保護者の方により分かりやすく伝えられるように努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		☐	代表者が地域の消防訓練に立ち合ったり、地域と連携した関係作りに努めています。	開かれた事業運営を図るために地域の方たちとの関係作りを行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	☐		いつでも手に取ってお読みいただけるように事業所入り口付近に設置しています。	事業所の環境整備を更に進めると共に、災害用伝言サービスの体験利用を設けるなど今後も災害に対する意識を高めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	☐		年に3回、内容（火災・地震・不審者）を変えて避難訓練を実施しています。	避難訓練の反省点や修正点を職員皆で共有し、災害時に落ち着いて行動できるようしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	☐			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	☐		保護者の方の申し出に応じて対応しています。	アレルギー疾患に対する知識を身に付けます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	☐			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	☐			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	☐		子ども達が過ごす環境内で起こった事案に関しては即日ヒヤリハット報告を行い記録に残しています。いつでも目が通せる場所に保管し、職員の意識づけに活用しています。	今後も危険に対する意識向上に努め、安心・安全につなげていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	☐		虐待防止マニュアルを策定し設置しています。職員は月一回勉強会を行い、問題提議、意識向上などを図っています。	今後も虐待防止の意識向上に努めます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	☐		子ども達一人一人の心身共に育やかな発達を願い、傷つけることのない様十分に配慮した上でやむを得ずそのような状態になった場合を想定し、個別支援計画説明時に了解を得るようにしています。	安全を第一に考え、やむを得ずとはどういう場合なのかを、保護者の方と細かく話をしながら計画書に記載していきます。